

(4) 自主共聴施設の受信点調査(注1)の状況(平成21年1月8日現在)

【別表4】

| | ① 施設数 | | | ③ 申込件数(②の内数) | | ⑤ 調査実施数(③の内数) | |
|---------|-------|----------------|---------|--------------|-----|---------------|---------|
| | | ② 設備改修対象施設(注3) | ③ % | ④ % | ⑥ % | ⑥ % | |
| | | | (③=②/①) | | | | (④=③/②) |
| 福岡県 | 185 | 87 | 47% | 53 | 61% | 31 | 36% |
| 佐賀県(注2) | 67 | 9 | 13% | 3 | 33% | 0 | 0% |
| 長崎県 | 117 | 92 | 79% | 48 | 52% | 23 | 25% |
| 熊本県 | 430 | 340 | 79% | 187 | 55% | 160 | 47% |
| 大分県(注2) | 472 | 97 | 21% | 84 | 87% | 43 | 44% |
| 宮崎県 | 307 | 215 | 70% | 110 | 51% | 77 | 36% |
| 鹿児島県 | 410 | 305 | 74% | 131 | 43% | 112 | 37% |
| 九州 | 1,988 | 1,145 | 58% | 616 | 54% | 446 | 39% |

(注1) 辺地共聴のデジタル化対応には、現在のアナログ放送の受信設備(アンテナ、ヘッドエンド、アンプなどをデジタルに対応できるように設備を改修する方法と、共聴施設を廃止してCATVへ加入する方法がある。
共聴施設でデジタル放送を受信するためには、デジタル化改修に先立ち現在のアナログ放送を受信している場所で、デジタル放送のが良好に受信できるかの調査が必要となる。
調査方法等については、以下のとおり。

実施主体: NHKが実施し、費用はNHKが負担
実施対象: 辺地共聴施設(受信障害対策共聴、集合住宅を除く。)
実施期間: 平成20年度~21年度までの2年間
実施方法: 共聴施設管理者から市町村を通じてNHKへ申し込み

(注2) 佐賀県、大分県については、辺地共聴施設の多くがケーブルテレビにより巻き取られると見込まれている。

(注3) 辺地共聴のデジタル化対応には、現在のアナログ放送の受信設備をデジタルに対応できるように改修する方法と、共聴施設を廃止してCATVへ加入する方法(CATVによる巻き取り)がある。本欄では、前者の数値を記載している。